

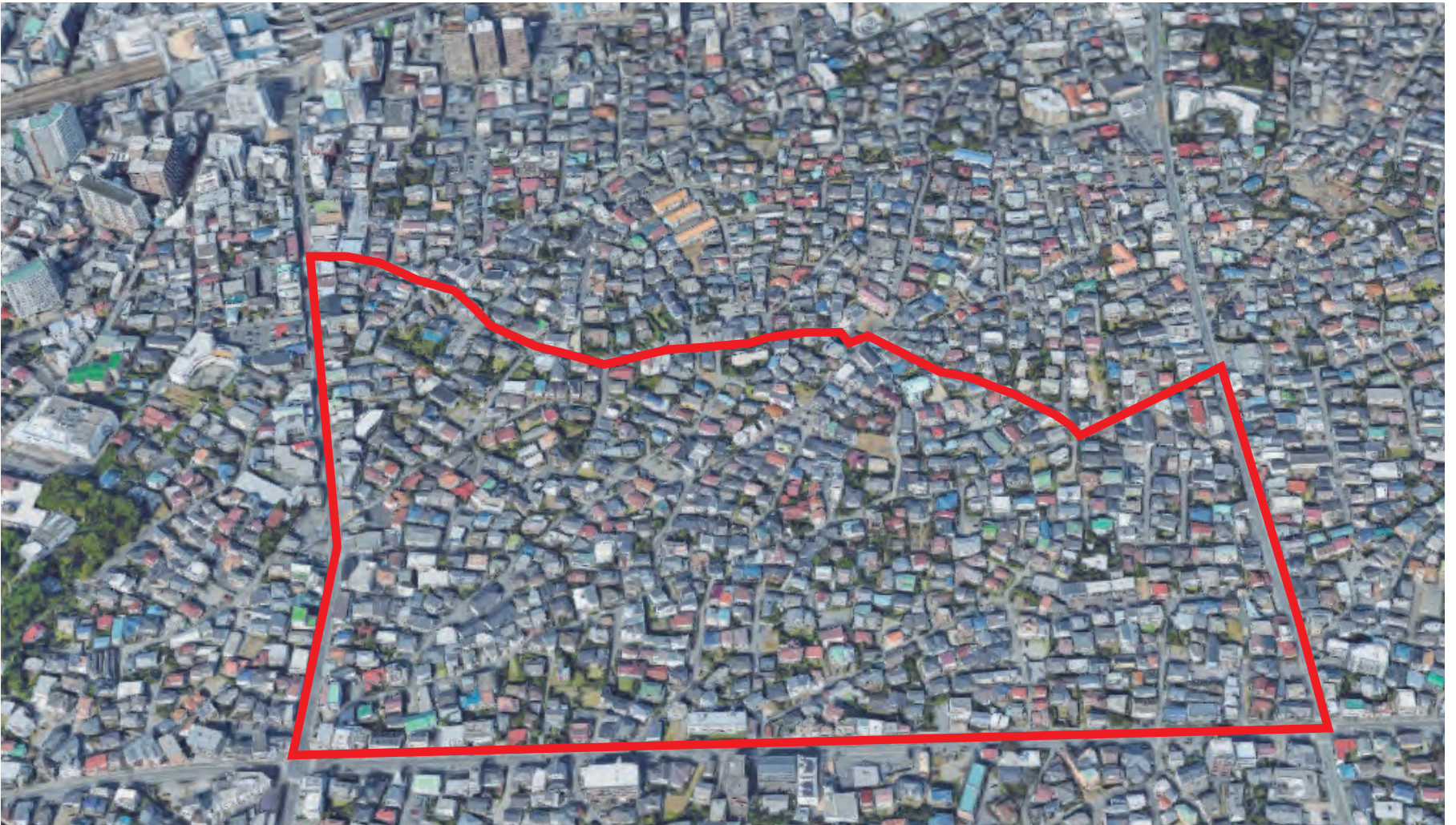
茅ヶ崎市東海岸

北二

2018/03

防災

マニュアル



出典：Googl Map

あたり一面 木造密集。強風下の出火 火禍の引き金！



# 『北二防災マニュアル』発行について

東海岸北二丁目自治会 会長 林 正明



毎年必ず大きな災害に襲われている我が国にあってこの地では、これまで幸運にも平穩に過ごしてきました。

しかし災害とは常に背中合わせ、いつ被災するかも知れません。災害へのそなえのために、防災活動の指針となる「北二防災マニュアル」をまとめました。

当マニュアルの作成主旨は、防災活動の中心メンバーである防災リーダー・自治会役員の活動支援にあります。別途、全戸宛てには本書抜粋のチラシを配布します。これから本書とチラシを有効に活用して“災害へのそなえ”に怠りのないよう一致協力していきましょう。

なお、本書は東京都編集・発行『東京防災』をベースにして、「北二ならではの情報」を加えた副読本として編集しています。本書と合わせて『東京防災』を参照してください。



- Q01 : どの災害にそなえるのか？
- Q02① : 関東大震災での被害は？
- Q02② : 地震動体験のすすめ
- Q03 : 茅ヶ崎・北二という地域は？
- Q04 : 自助＝共助(近助)＝公助とは？
- Q05 : 食べ物・水の備蓄は何日？
- Q06 : ご存知ですか？日常備蓄
- Q07 : 自宅のそなえはできてますか？

# 日頃のそなえ



# Q1:どの災害にそなえるのか？



北二で想定される自然災害 危険可能性

地震	大	言うまでもなく最大にして最強の災害。突然襲い掛かって来て、かつ強烈。人智及ばぬ存在。
火災	大	平凡な日常の中に存在する災害。原因はなんであろうと強風下で発生したら、北二最大のピンチ！
津波	並	関東大震災規模でも北二まで到達する津波の想定はない。しかし、安心は禁物！
大雨・暴風	中	主に台風、それ以外にも梅雨・秋雨前線活発化に伴う災害も毎年のように発生。
集中豪雨	中	都市部の河川や排水機能、地下街を襲う瞬間的な豪雨。最近記録の水害多発。
落雷	稀	2017年落雷経験。電気製品に被害発生。やはり、カミナリ火事オヤジ……怖い。
竜巻	小	

ぜったいに出してはいけない！

強風下の火災



いつか来る、備えよう

関東大震災の再来→次頁

## Q2①:関東大震災での被害は？

以下「茅ヶ崎市史ブックレット14/16」抜粋資料だが、東海岸（当時の北二の行政区）に絞った記述はない。

### 震源

震央が三か所ある三つ子地震。地震の発生は、5分ほどの間にM7クラスが震源地を変えながらの巨大な揺れであった。

### 震度・揺れ

マグニチュード7.9、震度7

震度7の地域は、小田原から鎌倉、横浜、東京、房総南部に至る広範に及んだ。揺れ幅20cm以上の強い揺れは1分以上続き、地震の主要動は10分間続いたという。地震に伴う火災被害が甚大なため、東京が最大の被災地となっているが、最激震地は相模湾をのぞむ地域（横浜・小田原・国府津・大磯・茅ヶ崎・鎌倉）と房総・千葉であった。



### 津波

住宅（建っていない？）流出など記録なし。134号線あたりまで浸水。舟・魚網の流出。  
津波高さ：鎌倉由比ヶ浜9m、江ノ島7m  
相模川を津波が遡上し小出川・千の川が氾濫、床上浸水となった。

### 死傷者

死者156（当時の茅ヶ崎町）、重傷者61名

### 地盤： 液状化現象

大きな地割れは少ないが、小規模なものや道路・畑から地中水を噴出した箇所は多い。市北部で土地の隆起、余震と合わせて旧相模川の柱脚出現。柳島地区は地形が変わるほどの変化があり、隆起した。  
姥島（烏帽子岩）・平島（茅ヶ崎漁港埠頭）が隆起。

### 建物倒壊

茅ヶ崎町全戸3,426戸のうち、全壊2,112戸、半壊1,207戸（80%が全半壊）、全焼1戸  
茅ヶ崎駅北口駅本屋、駅周辺の工場群、茅ヶ崎小学校校舎など全壊

### インフラ被害

道路：国道一号線はじめ至る所で地割れで通行困難。地下水が地面に出てきた。  
鉄道馬入川鉄橋全長650m、国道馬入橋崩落。  
鉄道：貨物列車・貨車33両が脱線や転覆。線路は波打ち、架線は切れ切れ。  
水道（上下）。電気・ガス



## Q2②:地震動体験のすすめ

茅ヶ崎も甚大な被害のあった大正時代の関東大震災や阪神淡路、東日本大震災の震動が再現されます。実質1時間で、「地震シミュレーター」と「減災トレーニングルーム」、さらに他に煙や消火の体験もできます。

### 《体験メニュー A》地震シミュレーター ■体験ツアー(1階)

震度3から7までの揺れや、東日本大震災や阪神淡路大震災などの揺れを体験します。



### 《体験メニュー B》減災トレーニングルーム ■体験ツアー(2階)

まずは一般家庭をイメージした部屋に入って何も知らされずに、音響や映像で演出される地震・火災などの災害を体験します。その災害に対して、あなたは何かができるのか？身を守る行動を学びます。



### 防災展示施設

#### 横浜市民防災センターの見学ご案内

開館時間/9:15~17:00

休館日/毎週月曜(祝日は開館、次の平日が休館)、年末年始

場所/横浜市神奈川区沢渡4-7

【鉄道】横浜駅西口より徒歩10分

【市バス:5/25/68系統】鶴屋町3丁目から

徒歩3分

注意事項/動きやすい服・公共交通機関のご利用を。

問い合わせ/予約 電話 045-411-0119

sy-kengaku@city.yokohama.jp

## Q3:茅ヶ崎・北二という地域は？

95年前関東大震災で烈しい被害を受けたが、その後は特筆する自然災害はなく、戦災も無かった。しかし、ここ40年ほどの住宅開発で、木造住宅の密集化という都市災害の危険が高い地域となっている。

### 災害 危険度

- ・建物火災危険度マップ《最高危険》
- ・クラスター（延焼運命共同体）分布図で一中通り西側区域に属し9、241棟、その東側区域の10、671棟に次いでダントツの2番目
- ・東海地震対策強化地域内（最東端）⇒東京防災P118、119
- ・液状化危険度マップ《やや低いレベル》

坐  


東

P.118・119

### 地形・ 地質

- ・市内北側の高台に対する南部低地帯。縄文時代（1万年から2500年前）は海面の上昇・下降（海進海退）があって、砂丘・砂州・低湿地であった。
- ・藤沢から平塚に広がる「湘南砂丘地帯」の中央部に位置し、標高20～8mの帯状の高まりが何列もあり、その間の凹部は低湿地となっていた。

### 住宅 密集化

- ・終戦後しばらくは一面の畑であった。（下図写真1952年撮影）





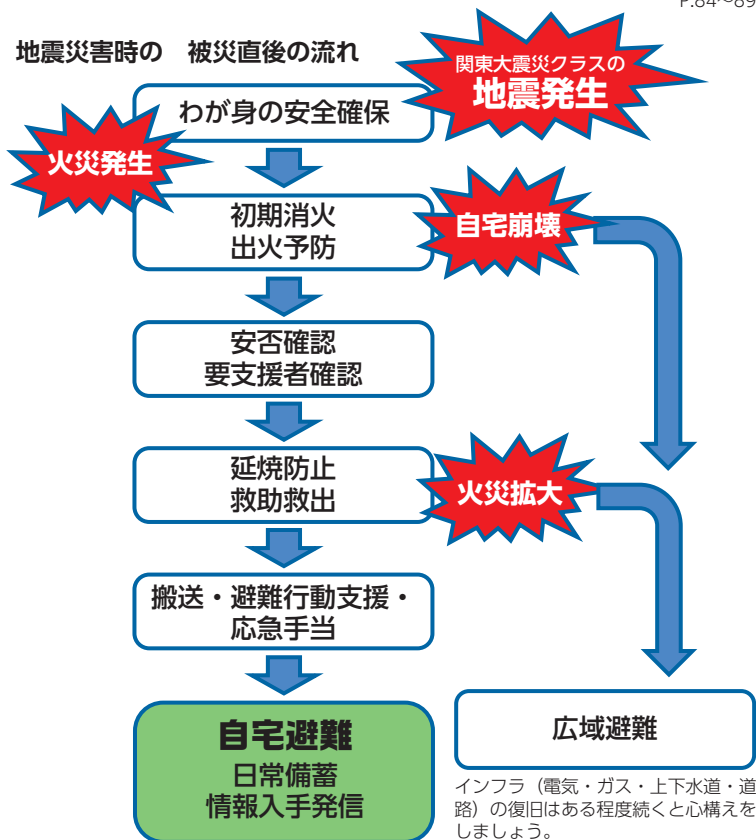
## Q5:食べ物・水の備蓄は何日？

被災直後の混乱の中、少なくとも3日、出来れば1週間の飲料水と食料は、自宅内で賄う。

東

P.84～89

地震災害時の 被災直後の流れ



- ・通常家庭で200ℓ/人日強の水道消費の中で、飲料用は少なくとも3ℓ/人日。この準備をしなかったために、自宅避難が出来ず避難所に行かざるを得ないこととなります。

## Q6:ご存知ですか?日常備蓄

### 例えばの 日用品と兼用備蓄

最上段：  
プラスチックや紙の食器類  
断水時の使い捨てを想定

2段目：  
被災直後すぐ食べれる食品  
非常食や栄養補給食品類

3段目：  
栄養素ごとに分別貯蔵  
デンプン類・蛋白質・野菜・  
海藻など

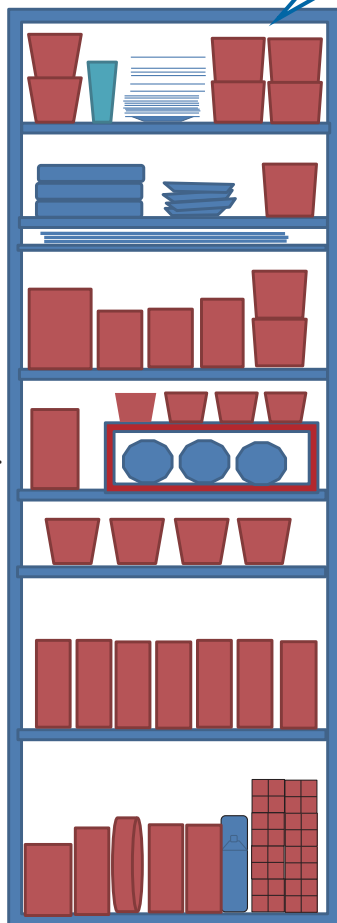
4 / 5 段目：  
缶詰やフリーズドライ食品  
レトルト食品（おかゆ・カレー・  
シチュー・丼ものなど）  
缶詰（魚肉加工品、惣菜、野菜、  
フルーツ、デザートなど）

6段目：  
被災してからの2食/日を  
一つの箱に仕分けしておく。  
主婦が不在でも家族がわかる  
ように。

7段目：  
カセットコンロ・カセット予備  
無洗米袋詰め・麺類・スパゲッ  
ティ・ペットボトルやジュース類  
缶飲料

食器戸棚…3日から1週間分  
居間や寝室の本棚転用でもできる

戸棚の  
転倒防止も  
大事です！



毎日  
使う

使ったら  
すぐ補充

家

冷蔵庫も  
停電になっ  
たら食品庫。

東

# Q7:自宅のそなえはできてますか？

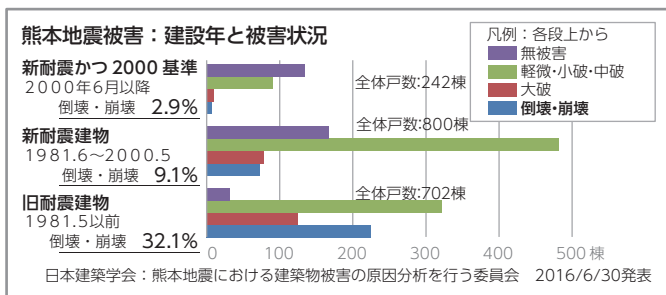
自宅は、命を守る砦、被災を和らげるアットホーム、  
復旧復興に向かうベースキャンプ。  
まず自宅をしっかり作ろう、その心構えとともに。

## 建物耐震

- ・昭和56年（1981）5月以前に建設の木造住宅（旧耐震基準建物）は、耐震補強が必要です。
  - ・下表のように、倒壊・崩壊比率は旧耐震32.1%に対し新耐震は10%以下です。
  - ・対策費がかかりますから、計画的に取り組みましょう。
- 市役所建築指導課、あるいは自治会役員まで取り組み方についてご相談ください。

相  
東

P.106・113



## 家具転倒防止

- ・家具・家電製品は、便利な道具。そのままですと震度5以上で『凶器』になります。
- ・阪神淡路大震災では、6,434人の圧死者のうち約1割の方が家具の下敷きに。
- ・家具や台の上の家電製品は、固定しておかないと水平に飛んできます。
- ・部屋の中のガラスが割れてケガをしますし避難しようにも歩けなくなります。

- 対策1：台や後ろの壁、床と天井間で突っ張り『固定』する  
対策2：家中で家具の配置見直し…寝室には家具を置かない  
対策3：寝室や居間の家具配置を見直す  
対策4：室内のガラス面には、飛散防止用のフィルムを貼る

坐

北二

東

P.94～103



- Q08 : まず地震から！順に集中！
- Q09 : **火事だ**—— 急げ消火！
- Q10① : 避難＝自宅待機で家族と連絡を！
- Q10② : 避難＝あなたの安否？
- Q11 : 救助救出から避難要支援へ
- Q12 : 被災時の適切情報、どこからどこへ？



# 災害の襲来！

## Q8:まず地震から。順に集中！



地震発生前の警報が鳴り、あるいは突然の本震に襲われてからの数分間は全身集中し“わが身を守る”時。引き続き余震や火災発生もある。この短い時間が最も危険。自宅が危険になったら自己判断で広域避難所へ走る。

### 地震発生から

北二

- 0～3分 地震の揺れに集中
- 2～5分 火の元消火と避難口確保
- ～5分 次に津波襲来に集中
- ～10分 周辺からの延焼に注意

落下物に備え避難場所（テーブルの下）に逃げ込む。  
揺れが弱くなったら、周囲を見回し危険を回避する動作、特に火の元を消す、避難する出口を開放。  
無事なら次に津波襲来の情報入手。相模湾は早ければ5分以内に到達する。家を出て高所に避難開始。  
戸建てが隣家に延焼してくる時間は10分。

### 地震発生時の警報

1. Jアラート(全国瞬時警報システム)は必ず市の放送(2.)があります。
2. 市の行政無線放送(街頭スピーカーか防災ラジオ)はJアラート以外にも震度4以上の地震・津波で放送
3. 携帯3社の緊急速報メール(NTTはエリアメールサービス)=ほぼ2.と同様に発信
4. 公共放送→TV一般およびTVKデータ放送

北二

## Q9:火事だ——急げ消火！

地震で火災発生、あるいは、  
平時の強風下での出火は、  
すぐ消火活動へ。  
北二にとって、この初期の  
消火活動はこの街を守る  
生命線。

### 消火の手順

北二

- ・まず、大声で“**火事だー!!**”と叫ぶ、周囲に知らせる。皆で消火に取り掛かる。
- ・バケツリレー・自宅の消火器(毎日通りかかるところに置いておく)を持ち寄って。
- ・火の勢いが身長程度に近づいたら逃げ出す。出火から2～5分以内。
- ・地震時の火事は、道路の消火栓から移動式消火ホースで、それ以外は消防車を待つ。

### コラム

狭い道路での消火活動事例(朝日新聞：愛媛西予の民家火事2017.2.6)

消防車は火災現場から離れた水源に駐車。ホースが延びて火元に向かう。

北二でも同様の消火方法か？



# Q10①:避難=自宅待機・家族連絡



地震発生時の身の安全、**坐**  
初期消火が落ち着いたら

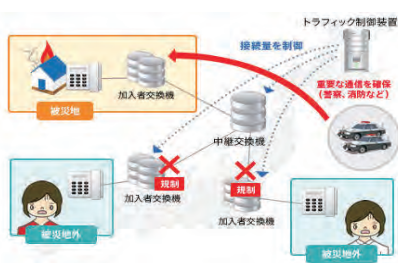
“**自宅で待機=在宅避難**”  
が基本です。**家**

家族親戚友人たちとの相互の  
安否確認。一斉に殺到して  
回線パンクや電気・通信被害  
などで不通が予想されます。  
複数のルートを日常から意識  
して確保しましょう。

**A.** 自治会経由で市が確認 **あなたの安否?** **B.** 個人として家族親戚友人が確認 **北二**

## コラム

### なぜ被災地の電話はつながりにくくなるのか?



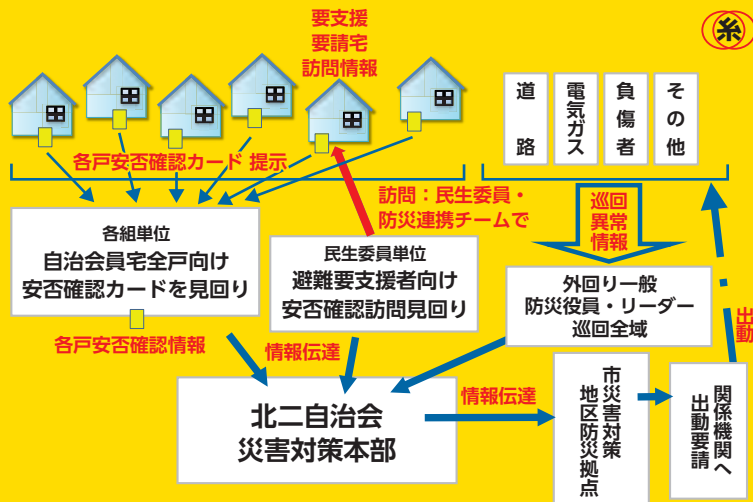
災害時のふくそう制御のしくみ

安否を問い合わせる電話(見舞い呼)が集中しある一定以上になると交換機の処理が限界に達する前に制御装置が動き全国との接続量を制御します。こうしたしくみで交換機のパンクを防ぐとともに災害復旧等に必要重要な通信(警察、消防など)を確保します(NTT西HP)

## Q10②:避難＝あなたの安否？

### A。自治会としての安否確認

北二



### B。個人としての家族親戚友人との安否確認



固定電話が  
被災地で  
つながりにく  
なった時

**NTTの171**

携帯電話や  
スマホが使える時  
**Web171**

●災害用伝言ダイヤル「171」…災害時のみの電話線サービス。

- ・平常時は毎月1/15日の体験日に開設。
- ・伝言依頼と伝言聴取を電話番号入力ひとつで、交信できる。
- ・4つの安否居場所を定型文から選定して「登録・確認」にて、安否伝達。

●災害用伝言板「Web 171」、携帯電話会社4社がインターネットで提供

- ・電話番号を用い登録・確認をできる。上記171との連携も可。
- ・文章メッセージ(全角100文字まで)を伝言(安否)登録可能。

# Q11:救助救出と避難支援へ

北二



被災して動けない方、日常から体が不自由で避難には他の人の支援が必要な方がいます。

大規模火災になり火に取り囲まれたり、自宅が倒壊する前に安全な場所に搬送しなければなりません。

日頃から、自治会内の情報伝達、避難行動支援のネットワークを築いておきましょう。



## 避難行動支援の手順（避難行動要支援制度について）

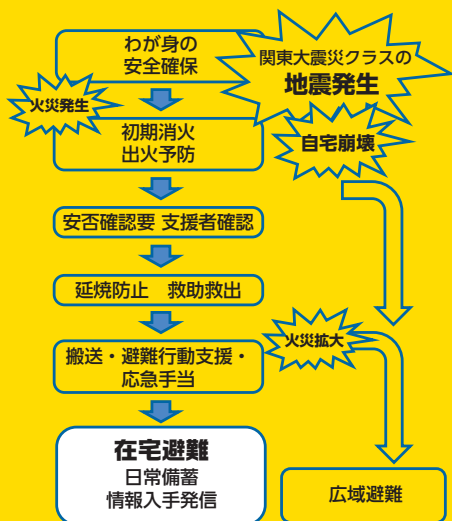


- 一斉避難の折 家族以外の支援を希望し上記市制度に応募された方は北二で150名ほど。
- うち自治会・民生委員経由で名簿掲載の80名強の方々は日常から顔見知りになっておく必要あり。
- 詳細は、まだ未定であるが、民生委員を中心に近所の防災リーダーが連携して担当とする。  
……参照：P. 24 防災体制地図



## Q12:被災時の適切情報、どこからどこへ?

災害は刻々と変化していきま  
す。それに合わせて避難場所  
や避難方法を変えていくこと  
が身を守るために大事です。  
それは自分だけでなく、家族  
や周囲の方々にとっても同じ  
です。どういう方法で適時  
的確は情報を得るか発信する  
か準備しておきましょう。



### 在宅避難時の情報入手元について…停電中



1. 防災ラジオ または 乾電池ラジオ による公共放送より
2. 屋外スピーカー または 防災ラジオ による市の防災放送より
3. インターネット (PCや携帯電話・スマホのバッテリー容量の範囲で) のニュースサイト・関係機関HPより
4. 携帯電話・スマホ (同上) のLINE・Twitter・Facebookより

坐

### 防災面で、スマホは情報受発信の道具として 有効な武器

1. 最近の震災では通信可能が維持したのは、電話よりもインターネットとメールとのこと。
2. ガラケーとスマホの差はWi-Fiの利用可否と、ネット検索の容易度。ただしスマホの弱点はバッテリー!

### スマホの生命線=バッテリー を持たせる方法…事前のそなえを!

1. 消費を抑える…画面の点灯時間を短く (低電力モードや機内モードに設定)
2. モバイルバッテリーや乾電池充電器を非常時用品として装備
3. 手回し発電機、小型太陽光パネル、給電機能を持つ自動車の準備

Q13：いざ！避難の時 どう決断？

Q14：家を出る時 再確認！

◆避難地図

◆北二防災体制地図

いざ！ 避難

## Q13:いざ避難の時！どう決断？

避難の基本は  
「在宅避難」= 自宅で待機



本震後は  
半壊でも  
次に  
余震が来る！と  
全壊になる  
恐れがある

余震で下敷き  
が怖い

風向きに注意！

となったら

周りや避難路を  
火で取り囲まれて  
からでは

遅い！

いざ！  
避難  
決断の時

避難先は23ページ『◆避難地図』 参照

# Q14:家を出る時 再確認！

①

## 持出品

- |                                    |                                 |
|------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 貴重品・家族の写真 | <input type="checkbox"/> 衛生用品   |
| <input type="checkbox"/> 危険回避品     | <input type="checkbox"/> 情報収集道具 |
| <input type="checkbox"/> 風雨対策品     | <input type="checkbox"/> 安眠用品   |
| <input type="checkbox"/> 非常食       |                                 |

坐

見

東

P.90・91

②

## 点検事項

- 火の元・火の気
- ブレーカーとガス元栓
- 電話機
- 戸締り

③

## 行先確認

- 公共情報の再確認
- 目的地
- そのルート

④

## 避難することを 知らせる（ここ大事！）

- 家族親戚知人へ…電話や災害用伝言板で
- 隣近所、できれば組長へ

北二

Q15：北二防災 合言葉

Q16：日頃の訓練に取り組みましょう

◆災害時に役立つ知識・技術一覧



# まとめ 日頃の訓練





# ◆北二防災体制地図

## 平時の防災・被災時の減災

- 1. 人……………● 防災リーダー・自治会役員宅  
○ 民生委員
- 2. 倉庫……………□ はまかぜ公園内
- 3. 消火設備…(水) 防火水槽 ▲ 消火栓  
◎ 移動式消火ホース格納庫(7ヶ所)



出典：国土地理院

# Q15:北二防災 合言葉

## 1.

自助(そなえ)は  
各自・各家庭で  
しっかり!



- ①事前の耐震化・家具固定 (P.12:Q7)
- ②自宅から火を出さないように初期消火 (P.14:Q8)
- ③避難の基本は在宅避難 (P.18:Q11)  
そのための日常備蓄 (P.11:Q6)  
被災時トイレ


東

P.200・201

## 2.

自助ではムリ  
公助に頼らず  
近所(助)の共助



- ①安否・被害状況の情報交換 (P.19:Q12)
- ②①に伴う救助救援活動 (P.18:Q11)
- ③早めの避難行動要支援活動 (P.18:Q11)
- ④①に伴う延焼拡大防止活動
- ⑤強風下の火災や地震時自宅倒壊の恐れのある時 (P.22:Q14)  
組でまとまった避難と誘導 
- ⑥人命救助救援、避難生活維持と復旧への助け合い態勢 (P.18:Q11)

## 3.

ここは  
公助に  
期待しましょう

- ①インフラ (水道・電気・ガス・通信) 設備の減災・復旧
- ②市外県外からの救援部隊要請
- ③混乱時も一貫した治安維持

# Q16:日頃の訓練に取り組みましょう



平成28年12月22日発生の糸魚川大火は、3時間余りで144棟を焼失する市街地災害となりましたが、死者ゼロ、軽症者2名と人的被害は極小でした。クラスター火災が危ぶまれている北二にとって、学ぶべき点が大いにある災害でした。

- 学ぶ点1. 町民全体で「強風下の大火」の災害を共通理解としていた。  
⇒Q1. どの災害に備えるか？
- 学ぶ点2. 戸別受信機で火災発生を知り素早い避難に入った。  
⇒Q8. まず地震から？順に集中！
- 学ぶ点3. 「組」の制度が機能し連携の取れた避難を実施できた。  
⇒Q10. 避難=自宅待機で家族と連絡を！/あなたの安否は？
- 学ぶ点4. 元々日常的に声を掛け合う顔見知りの共同体であった。

日常的な訓練を通して 人命を失わない減災に町内協力して 取り組みましょう。

## 《訓練・学ぶ方法》

## 《訓練項目》



家族で話し合う

- Q06:ご存知ですか？日常備蓄 Q07:自宅のそなえはできてますか？  
Q10:避難=自宅待機で家族の連絡を！ Q15:北二防災 合言葉/自助



座学で学ぶ

- Q01:どの災害に備えるのか？ Q02:関東大震災での被害は？  
Q03:茅ヶ崎・北二という地域は？ Q07:自宅のそなえはできてますか？  
Q10:避難=自宅待機で家族の連絡を！ Q12:被災時の適切情報/スマホ



訓練で身に付ける

- Q07:自宅のそなえはできてますか？ Q08:まず地震から！順に集中！  
Q08:まず地震から！順に集中！/警報 Q09:火事だ——！急げ消火  
Q10:自宅待機・家族連絡 Q15:北二防災 合言葉/安否・自治会



施設見学に行く

- Q02:関東大震災での被害は？/地震動体験のすすめ



専門家に相談する

- Q07:自宅のそなえはできてますか？

# ◆災害時に役立つ知識・技術

たくわえたクソリ（知識・技術）を引き出して災害にたち向かおう！

地震の知識 238	津波の知識 243	台風・大雨の知識 244	さまざまな気象情報 248	過去の大規模災害 250
--------------	--------------	-----------------	------------------	-----------------

心肺蘇生法 176	止血 178	骨折・捻挫の応急措置 180
傷病者の負担軽減 183	包帯の代用 187	切り傷の応急措置 181
傷病者の体位管理 184	新聞紙で暖をとる 192	やけどの応急措置 182
傷病者の搬送法 186	体温を調節する 194	消火栓の使い方 188
足を保護する 196	脱水症状を防ぐ 197	屋内消火栓の使い方 189
水道水の保存方法 198	断水時のトイレの使い方 200	スタンドパイプの使い方 190
水の運び方 199	簡易トイレの作り方 201	布ナブキンの作り方 203
少ない水で清潔を保つ 204	簡易おむつの作り方 202	ハ工取り器を作る 205
簡易ランタンの作り方 206	乾電池の大きさを変える 207	ロープの結び方 216
簡易ベッドの作り方 214	リュックサックの作り方 213	避難生活で行う体操 218
クッション・枕の作り方 215	食器の作り方 208	子供の遊び 220
パーテーションを作る 212	簡易コンロの作り方 210	身近な素材の活用術 222

数字は車<sup>車</sup>の参照頁

# 北二防災マニュアル

2018年3月発行

編集・発行／茅ヶ崎市東海岸  
北二丁目自治会

印 刷／株式会社 宮崎印刷所



HP:<http://kita-2.com/>